

特集

実践!

褥瘡ラップ療法

2010年3月、日本褥瘡学会理事会は「ラップ療法に関する見解」を発表。条件付でラップ療法を認めるにいたしました。「ラップ療法のは是非」を問う時代は終わり、これからは急性期、慢性期、あるいは在宅など、それぞれの現場で「いかに行くか」が問われます。ラップ療法の先駆的な取り組みで知られる東鷲宮病院の監修のもと、ラップ療法を含めた最新の褥瘡治療法をカラー特集でお届けします。

■カラー図解1 基本手技

水原章浩

■カラー図解2 合併症対策

松原恵み

■解説1 褥瘡治療の基本とラップ療法の実践法

水原章浩

■解説2 褥瘡ラップ療法の合併症とその対策

松原恵み

■解説3 褥瘡ラップ療法の歴史と現状

小林和世

Focus

急性呼吸不全に対する 呼吸理学療法を考える

丸川征四郎

編・集・後・記

●雨が降るなか、弊誌の誌面をデザインしてもらっているデザインワークショップ JIN の方々と一緒に駅伝大会に参加しました。1人5kmと走る距離が短いので、「余裕だろ」と調子よくスタートダッシュをかけたのはいいものの、3kmを超えると、カメのようなペースに（メンバーが応援している付近だけ、格好つけてダッシュ!）。走り続けることができたのは、たすきのおかげで、個人での参加なら歩いていたでしょう。●今号で、編集室を離れることになりました。違う媒体で走り続けようと思います。ありがとうございました。【吉田】

●先日、生まれてはじめて鍼灸を体験。自覚症状としては特に悪いところはなかったんですが、終わるとどこか、すっきりとした気分になりました。針で指した瞬間、身体の内側が反応するのなかなか興味深い。鎮痛などではかなりはっきりとした効果が確認されている鍼灸ですが、病院医療との間にはまだまだ大きな壁があります。もう少し互いに歩み寄ると、おもしろいことが起きそうな気がするのですが。【鳥居】

●吉田先輩が抜けた後、いったい誰が編集後記に筋肉ネタを書けばいいのか。最近運動不足の私にはなかなか厳しいネタ振りです。筋肉といえば我が家の猫も年のせい筋肉量が減ってきました。筋肉の代わりに容赦なく増えるぷよぷよにく。でも猫だこの脂肪を含めてかわいいんだよね、と不公平感をおぼえながらも、かわいいは正義なので猫の腹を撫でる手がとまりません。【西窪】

看護学雑誌 第74巻第7号 2010年7月1日発行(毎月1回発行)

発行/株式会社医学書院 代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2010, Printed in Japan

1部定価 1,260円(本体1,200円+税5%) 年々め予約購読料 13,200円、電子ジャーナル閲覧オプション付 18,200円(いずれも税込、送料弊社負担)

・Vol.72 No.6以前のバックナンバーのご注文先/(株)東亜ブック TEL 03-3985-4701

「看護学雑誌」編集室(担当/鳥居・吉田・西窪・白石) TEL 03-3817-5772

表紙・本文デザイン: DESIGNWORKSHOP JIN

E-mail kangaku@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【COPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。